

第26回 滋賀県自動車整備技能競技大会

総合優勝 湖南支部チーム

正和自動車販売株式会社 久保田 剛さん
正和自動車販売株式会社 村瀬 佳祐さん ペア

おめでとうございます

第26回滋賀県自動車整備技能競技大会が10月25日（土）、滋賀県自動車会館において、県内7支部より選抜された14チーム（28名）によって挙行されました。

大会開催にあたり、滋賀県自動車整備商工組合の共催と、近畿運輸局滋賀運輸支局、滋賀県、日本自動車整備振興会連合会、びわ湖放送株式会社の後援、並びに県内10社の自動車ディーラーの協賛を賜りました。

滋賀県では、全国で行われる大会にさきかけ、昭和41年より隔年で連続開催しており、本年で第26回の開催を迎えました。

本大会では、自動車整備事業の第一線で活躍している自動車整備士の技能について権威ある適正な評価を行い、技能のより一層の向上を促すとともに職責に誇りと励みを与え、かつ、競技大会を通して整備士相

互の連帯交流を強める一方、整備事業の公共性と業界の教育訓練・技能練磨の姿勢を広く社会に示し、業界に対する正しい理解と認識を高め、以て業界の健全な発展と自動車の安全確保及び環境保全に寄与することを目的として開催しています。

また、来る平成27年10月に東京ビッグサイトで開催される日本自動車整備振興会連合会主催の第20回全日本自動車整備技能競技大会の予選会を兼ねており、総合優勝を飾られた正和自動車販売 株式会社の久保田剛さん・村瀬佳祐さんに出場していただくこととなりました。

本大会は、個人によるアドバイザー競技及び FAINES・単体競技とチームで行う実車競技によって競われ、次ページの結果となりました。



開会式 優勝旗返還



選手宣誓を行う佐藤選手

第26回滋賀県自動車整備技能競技大会入賞結果

総合表彰			
入賞種目	事業所及び氏名	支部名	得点
総合優勝	正和自動車販売 株式会社 久保田 剛さん 正和自動車販売 株式会社 村瀬 佳祐さん	湖南支部	668点 /800
総合準優勝	株式会社 セイフティ 筑紫 善弘さん 株式会社 セイフティ 西木 裕さん	湖北支部	621点 /800
総合第三位	小和自動車 小林 和彦さん 種村オート 種村 元基さん	彦根愛犬支部	577点 /800
総合第四位	有限会社 若林自動車工業 田中 善之さん 有限会社 若林自動車工業 若林 祐太さん	彦根愛犬支部	564点 /800
総合第五位	協和自動車 株式会社 佐藤 泰志さん 辻作自工 辻 祐作さん	湖東支部	559点 /800

アドバイザー競技 (同点の場合大会規約により競技時間の短い選手を上位とする)			
入賞種目	事業所及び氏名	支部名	得点
第一位	協和自動車 株式会社 佐藤 泰志さん	湖東支部	159点 /200
第二位	正和自動車販売 株式会社 久保田 剛さん	湖南支部	146点 /200
第三位	小和自動車 小林 和彦さん	彦根愛犬支部	144点 /200

FAINES・単体競技 (同点の場合大会規約により競技時間の短い選手を上位とする)			
入賞種目	事業所及び氏名	支部名	得点
第一位	正和自動車販売 株式会社 村瀬 佳祐さん	湖南支部	195点 /200
第二位	株式会社 セイフティ 西木 裕さん	湖北支部	195点 /200
第三位	有限会社 小松自動車整備工場 藤野 純さん	大津支部	155点 /200

大会は、午前9時00分より自動車会館前会場で滋賀運輸支局、滋賀県、びわ湖放送、日整連等の多数のご来賓をお迎えし、各支部役員並びに会員多数の出席をいただいて開会式が行われました。

開会式は各支部から選出された代表選手の入場行進で始まり、萩野大会副会長（滋整振副会長）の開会宣言の後、前回優勝された有限会社 湖西自動車の西村さんと、株式会社 村田自動車工業所の山崎さんより優勝旗の返還が行われました。

開会にあたり、竹内大会会長（滋整振会長）は「上半期の自動車販売は消費税増税前の駆け込み需要の反動で2年連続減少しているものの、ハイブリッド車など高度に電子化された安全・環境対応車が急速に普及し、スキャンツールを使った故障診断技術の向上に磨きをかけておられるところであり、なお一層、自動車の安全確保や地球環境の保全など、社会的責務を果たしていかなければならない」と挨拶があり、次いで木村競技委員長（滋整振教育委員長）より、「本競技大会を通じて整備士相互の連帯交流を強めることを目的としております。選手の皆さん、日頃訓練された力を十分に発揮され、正々堂々と二人、力を合わせて頑張ってください」と、挨拶されました。

引続いてご来賓の挨拶と紹介の後、佐藤泰志選手代表の力強い選手宣誓が行われ、最後に磯田大会副審査委員長より競技要領説明が行われました。

競技は、Aグループ（前半競技）とBグループ（後半競技）それぞれにチームを分け、会場にダイハツ ムーブ（レンタカー）を配して、7チームが同時に競技を実施しました。



アドバイザー競技



F A I N E S 競技

競技内容としては、今回はアドバイザー競技及び FAINES 競技をそれぞれ選手1名ずつで行い、続いて実車競技に入り、最後に再度アドバイザー競技及び単体競技を行う流れで実施し、アドバイザー競技での問診内容が後の実車競技の設問に繋がるものとし、日常の整備業務に近い形態としました。

アドバイザー競技はお客様への問診、対応、整備アドバイスを審査するロールプレイング形式、FAINES 競技は実際に FAINES を使用した検索形式で行い、単体競技はマイクロメータを使用した計測を行い、測定技術及び正確さについて審査されました。

実車競技は1年定期点検整備をベースにした点検整備を行いながら、6箇所の故障設定を診断、修復する内容で競われ、午後12時55分に全ての競技を無事終了しました。



実車競技



単体競技 アドバイザー競技

昼食を挟んで午後1時55分より、表彰式並びに閉会式が行われ、大会会長表彰・滋賀運輸支局長表彰・滋賀県知事表彰・日整連会長表彰・びわ湖放送表彰各々の受賞者に表彰状並びに副賞が授与されました。

引き続き、坪田審査委員長（株式会社スズキ自販滋賀）より講評が行われ、「外部診断器による故障探究にはばらつきがあったように思いますが、これからは外部診断器が標準になりつつあるので、技術力のさらなるレベルアップを目指して頑張ってください。」と述べられました。

最後に後藤大会副会長（滋整振副会長）より閉会宣言が行われ、「実技・アドバイザー・FAINES単体の各部門において、高いレベルでの競技となりましたことは我々業界の誇りであり、このような教育訓練と技術練磨の積み重ねがユーザーにより一層の信頼をいただくものと確信致すところであります。また、優勝チームは第20回全日本自動車整備技能競技大会で立派な成績を納められることを願います。」と締めくくられ、午後2時40分盛況のうちに予定通り閉会しました。

競技問題

1. アドバイザー競技・・・「エンジンがかからないことがある」と整備依頼で来店されたお客様への受付対応及び問診、整備アドバイス
2. FAINES 競技・・・FAINES を使用し、単体点検項目の検索と配線図の読み方。
3. 単体競技・・・マイクロメータを使用し、指定箇所の測定。
4. 実車競技・・・競技大会専用整備記録簿に基づく25項目の点検整備と6箇所の故障設定の診断及び修復



表彰を受ける湖南支部チーム



出場選手の皆さん